

## 教育目標「豊かな人間性や社会性を身につけたたくましい稲中生」

「目指す生徒の姿」  
自ら学ぶ生徒  
思いやりのある生徒  
健康で働く生徒

# 師弟一如

稲田中学校学校だより  
第 19 号  
平成 27 年 11 月 30 日  
文責 校長 安齋 次弥

## 2学期のまとめをしっかりと行おう！！



3年生は、16日(月)に、1、2年生は24日(火)に期末テストが終わりました。これであるとは、通知票を待つだけなんて考えている人いませんか？大切なのは試験が終わったこれから。できなかったところをもう一度見直し、わからないところは、先生に質問し、理解を深めるようにしましょう。もちろん、3年生は期末が終われば、今度は1期選抜に向け、志願理由書等の練習を行ったり、面接の練習、私立高校の願書記入等、どんどん入試に向けた取組が本格的になってきます。1、2年生も自分はまだまだ大丈夫なんて思わず、自分を高めるための、英検や数検、漢検等にどんどん挑戦して欲しいです。家庭に帰ってからの自主学習の時間を延ばすにはちょうど良い時期です。

稲田小・中学校では15分×学年という取組を行っています。1年は15分×7年＝105分、2年は15分×8年＝120分、3年は15分×9年＝135分となります。ゲームやラインでいたずらに時間を過ごしてしまうのではなく、自分を高めるための時間を大切にしましょう！！

### 第3回目の避難訓練実施！！真剣に避難しました。

いざという時のために日頃からの訓練が大切！！

11月19日、6校時に須賀川消防署の署員4名をお呼びし、今年度3回目の避難訓練を実施しました。前回の避難訓練は地震を想定し、その場から逃げるというものでしたが、今回は給食室からの火災を想定しての訓練でした。実際には、経験したくはないことですが、いつ、どこで、どのような時に起こるか分からないのが災害です。日頃から災害が起きたときのことを考え、いざという時、どのような行動をとればいいのか常に頭に入れておきたいものです。火災の場合、煙による一酸化中毒にならないようにすることが重要です。今回の訓練では、ハンカチ等で口を押さえている人は少なかったです。万が一、火災にあった場合は、姿勢をできるだけ低くし、ぬれタオルやハンカチで口を押さえ、できるだけ煙を吸わないようにすることが大切です。なお、避難したあとで、水消火器による消火訓練も行いました。災害時には、命を守ることを最優先に考え、落ち着いた行動に心掛けたいです。



### 第3回授業参観、家庭教育学級、学年懇談会！！12月4日(金)実施

今年最後の授業参観が行われます。今回は、人権啓発セミナーということで福島大学 教授小野原雅夫先生に「育てよう 思いやりの心」という演題での講演も予定されています。今世間ではいじめや虐待等の話題を聞かない日は無いくらい大きな問題になっていることでもあります。誰もが生まれながらに持つ権利、人が人らしく生きる権利、すべての人が幸せになる権利・・・。「人権」について、考えてもらう意味で、須賀川市の事業との共催です。生徒のみならずはもちろんですが多くの保護者の方や地域の方にもぜひ聞いて欲しいです。多くの方々の参加をお願いします。

時間帯は

◇授業参観 13:30～14:20

1-1 国語 教室  
2-1 社会 教室  
2-2 体育 体育館

わかくさ

3-1 英語 教室  
3-2 理科 理科室

◇教育講演会 14:30～15:30  
福島大学 小野原 雅夫教授

◇学年懇談会 15:40～16:30

1学年・・・1-1教室  
2学年・・・2-1教室  
3学年・・・3-1教室



### 岩瀬地区小・中学校警察連絡協議会から

24日(火)に各学校の生徒指導主事、校長と警察との会議が開かれました。その際須賀川警察署の生活安全課長さんからのお話で、最近の非行についてお話いただきましたが、SNSでの性被害や家出等について増えているとお話がありました。スマホ、携帯、ゲーム機器で自分の家の子は大丈夫との安心感があるかも知れませんが、ゲーム機器でも他の人とラインで繋がりが、危険であることは、親さんや家族には意外と知られていないのかもしれない。保護者が、子どもをサイバー犯罪から守る7つの約束

- 1 大人も子どももルールやマナーを守ります
- 2 ネットで知り合った人とは会いません
- 3 家庭でのルールを作ります
- 4 いじめはしません、見逃しません
- 5 トラブルは大人に相談します
- 6 加害者にも被害者にもなりません
- 7 大人の携帯電話を勝手に使いません